

従来工法とはここが違う!

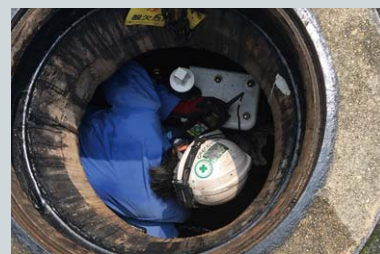
	空気弁枝管補修継手 RS-M型	従来工法	
		当て板補修	新設取替
構造概要	漏水部を木栓で止水し、製品で枝管全体を覆い、万力構造ボルトで固定	漏水部を木栓で止水後、銅板を当て隣肉溶接で止水	既設空気弁室のスラブを撤去し、既設を撤去し、新設の空気弁蓋に更新
施工スピード	ボルト接合のみで、土木工事と溶接作業がなく、早期補修可能	溶接作業のみで、土木工事がなく、比較的早期に補修可能	舗装やスラブ撤去復旧の土木工事に相当な時間がかかる
道路規制	マンホール内のみで作業が可能で、道路規制は最小で済む	地上に溶接用機材等を設置するため、道路規制が必要となる場合がある	重機を利用するため、道路規制が必要になる
断水	木栓による一次止水が可能な場合、断水不要	木栓による仮止水が可能な場合、断水不要	完全断水が必要
耐久性・耐圧性	耐久性および耐圧性に優れている設計圧力(7.5K、10K)に対応	仮復旧に過ぎず、既設の性能による	耐久性および耐圧性に優れている設計圧力(7.5K、10K)に対応
耐腐食性	枝管全体を覆う構造のため、枝管部で新たな漏水は発生しない	補修部以外の枝管部で漏水する可能性あり	新設のため、耐腐食性に優れる
適用範囲	老朽化した管にも設置可能	腐食による減肉が著しく、溶接が困難な場合は施工不可	道路規制が困難な場所や断水ができない場所では施工不可、廃棄物が生じる

超音波板厚計による劣化度診断 ※JFEエンジニアリングへお問い合わせください。

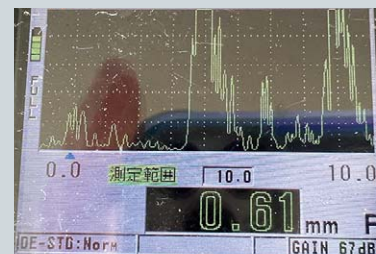
通水状態で既設の空気弁枝管の板厚を測定する事が可能です。  
腐食による減肉が著しい場合は、本製品での予防保全対策をお薦め致します。



超音波板厚計



測定状況



測定結果 (例)



日本ヴァクトリック株式会社 VICTAULIC®

本社 〒106-0032 東京都港区六本木一丁目8番7号 MFPR六本木麻布台ビル内  
 大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目1番31号 京阪堂島ビル内  
 名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目20番25号 メットライフ名古屋丸の内ビル内  
 福岡支社 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目10番4号 第二博多成成ビル内  
 札幌支社 〒060-0001 札幌市中央区北一条西4丁目1番2号 J&Sリソナビル内  
 滋賀工場 〒520-3035 滋賀県栗東市壺仙寺3丁目14番63号  
 神戸工場 〒651-2228 神戸市西区見津が丘2丁目3番2号

TEL:(03)5114-8531(代) FAX:(03)5114-8532  
 TEL:(06)6341-3556(代) FAX:(06)6341-0447  
 TEL:(052)223-8251(代) FAX:(052)223-8256  
 TEL:(092)431-8208(代) FAX:(092)461-0068  
 TEL:(011)241-0021(代) FAX:(011)222-5848  
 TEL:(077)553-5121(代) FAX:(077)553-5124  
 TEL:(078)994-6721(代) FAX:(078)994-6728

●ホームページアドレス <http://www.victaulic.co.jp>

共同開発 JFEエンジニアリング株式会社 アクア事業部

〒212-0013 川崎市幸区堀川町580ソリッドスクエア西館9階  
 〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1(横浜本社)

TEL:(044)396-5195 FAX:(044)396-5199  
 TEL:(045)505-7435 FAX:(045)505-8902

▲安全にお使いいただくために

●商品をお使いいただくために、ご使用前に必ず「施工要領書」をお読みください。  
 ●取付作業等でご不明の点がございましたら、代理店もしくは当社までご連絡ください。

※このカタログの記載の仕様、形状は改良、その他で変更する場合があります。

22.10.1000-RSM

VICTAULIC®

共同特許出願中

空気弁枝管補修継手

Air Valve Branch Pipe Repair Joint

RS-M型



短期間で漏水復旧・予防保全を実現

日本ヴァクトリック株式会社





# あの漏水を素早くシャットダウン!

～不断水・土木工事なし・短期間で漏水復旧と予防保全が可能～

## 恒久対策を兼ねる漏水補修工法

既設管と**同等の強度と耐圧性能**を有しております。(FEM解析済)  
枝管全体を覆う構造のため、漏水の**予防保全対策**としてもご利用いただけます。  
※既設管の強度を上げるものではありません。

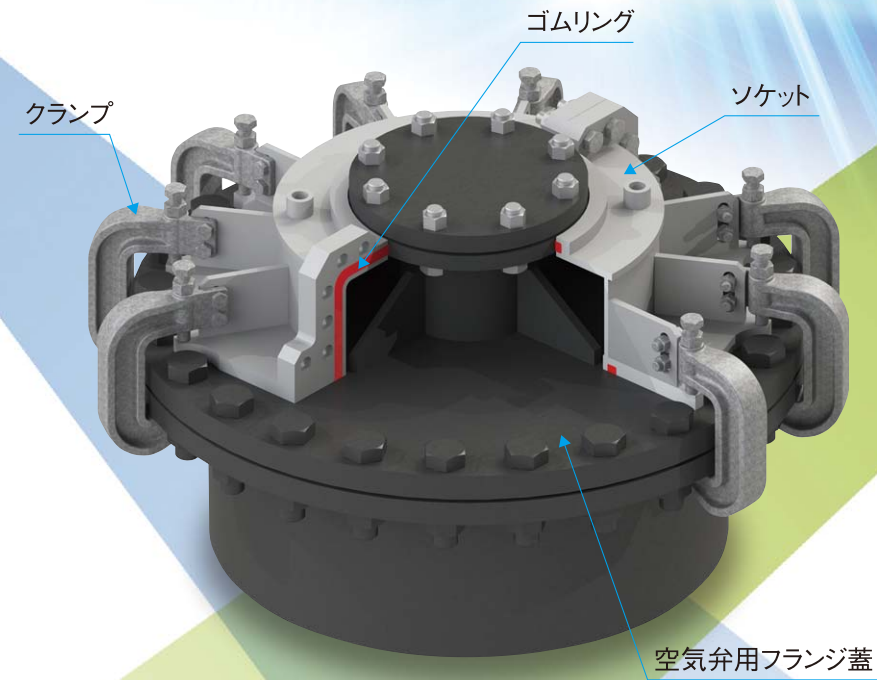
## 断水・土木工事が不要

本体は二分割して搬入するため、1ブロック約30kgと**軽量**。**断水も土木工事も不要**です。  
空気弁枝管の交換工事に比べ、**大幅な工期短縮**が期待できます。

## 誰にでも施工が可能

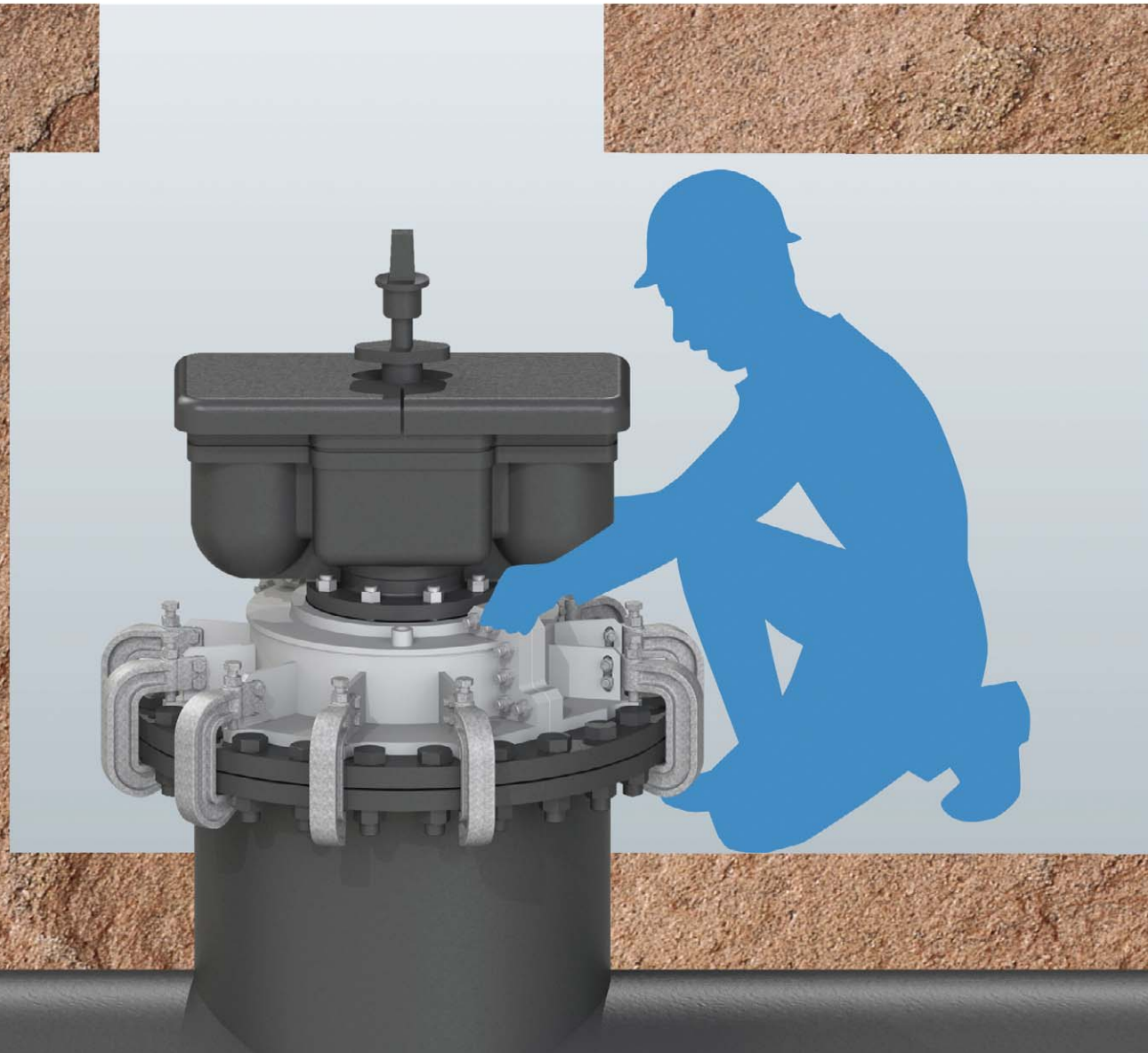
現場施工に関して、**溶接士などの有資格者が不要**。誰にでも施工ができるので、緊急時にも対応可能です。

# ヴィクトリックに新しい補修継手が誕生!



## 適用範囲

- 一般埋設管路におけるJWWA G 118(異形管) 空気弁用フランジ蓋600A
  - 空気弁枝管75A,100A,150A (設計圧力7.5K,10K)
- ※設置環境に応じた検討を致しますのでお気軽にお問合せください。

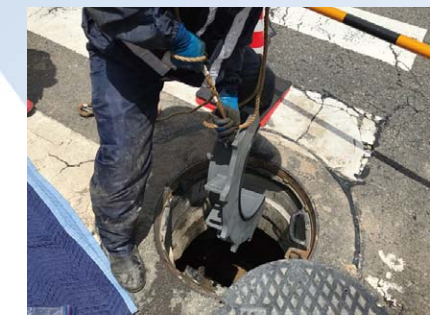


### 1 準備工(素地調整)



既設の本管側フランジ面と枝管側フランジ側面の素地調整をし、既設のボルトナットを交換する

### 2 本体吊下し



ソケットにゴムリングを取付後、弁室内へ吊下す

### 3 仮組



クランプ、ボルトナットを本体に取付け、仮組する

### 4 ソケット固定



2分割の本体の合口部をボルトナットで締め込み、ソケットを固定する

### 5 クランプ固定



クランプのボルトナットを締め込み、ソケットを固定する

### 6 設置完了



充水し、止水性能・耐圧性能を確認する